

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年12月12日(2013.12.12)

【公表番号】特表2013-514547(P2013-514547A)

【公表日】平成25年4月25日(2013.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2013-020

【出願番号】特願2012-544511(P2012-544511)

【国際特許分類】

G 02 B 6/00 (2006.01)

C 08 F 297/04 (2006.01)

【F I】

G 02 B 6/00 3 9 1

C 08 F 297/04

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月25日(2013.10.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) 35:65から10:90の水素化共役ジエンポリマーブロック：水素化ビニル芳香族ポリマーブロックの重量比、

(B) 40,000 g/molから150,000 g/molの数平均分子量(Mn)、ならびに

(C) 各水素化ビニル芳香族ポリマーブロックおよび各水素化共役ジエンポリマーブロックが少なくとも95パーセントの水素化レベルを有している水素化レベルを特徴とする環状ブロックコポリマーを備える、プラスチック光ファイバコア。

【請求項2】

環状ブロックコポリマーが、(D)少なくとも120のガラス転移温度、(E)1380キロパスカル(kPa)(200,000ポンド/平方インチ(psi))を超える引張係数、および(F)少なくとも110ジュール/メートル(J/m)(2フィート・ポンド/インチ(ft-lb/in.))の室温(23)ノッチ無しアイソッド衝撃韌性のうちの少なくとも1つをさらに特徴とする、請求項1に記載のプラスチック光ファイバコア。

【請求項3】

コア上面でコアと接触しているクラッディングをさらに備え、コアおよびクラッディングの各々が屈折率を有し、クラッディングの屈折率がコアの屈折率とは異なっている、請求項2に記載のプラスチック光ファイバコア。

【請求項4】

クラッディングの屈折率が、コアの屈折率より少なくとも0.012低い、請求項3に記載のプラスチック光ファイバコア。

【請求項5】

請求項1に記載のプラスチック光ファイバコアを備える、自動車、工業、医療または消費者向けシステム。